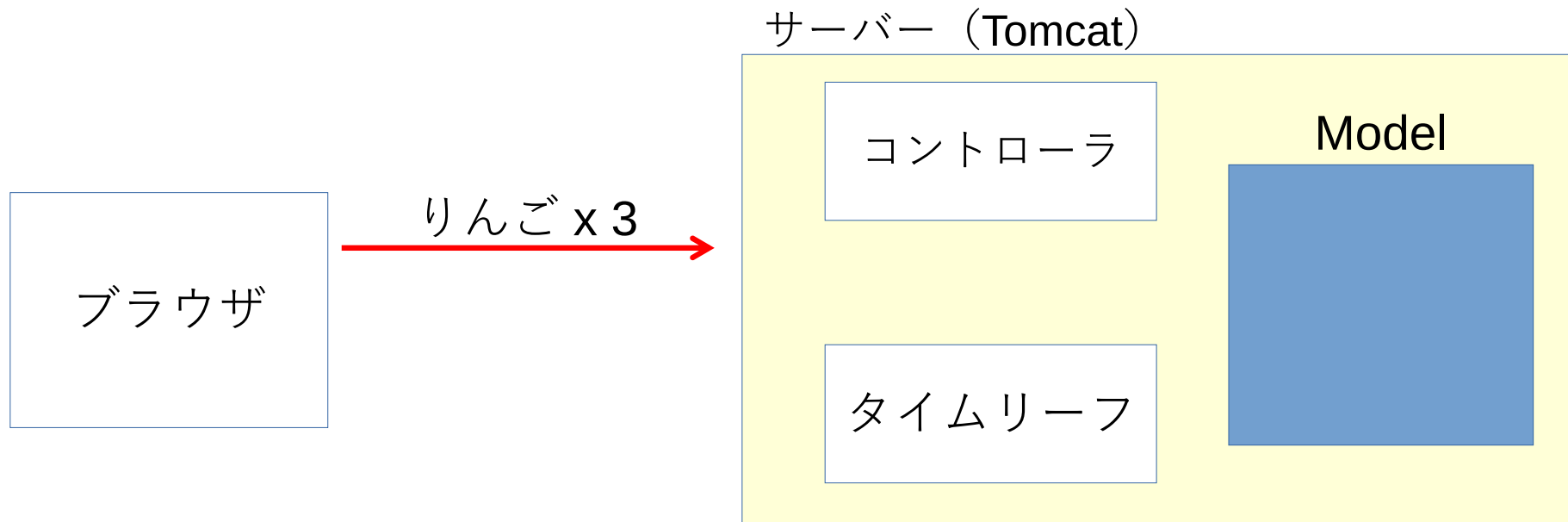
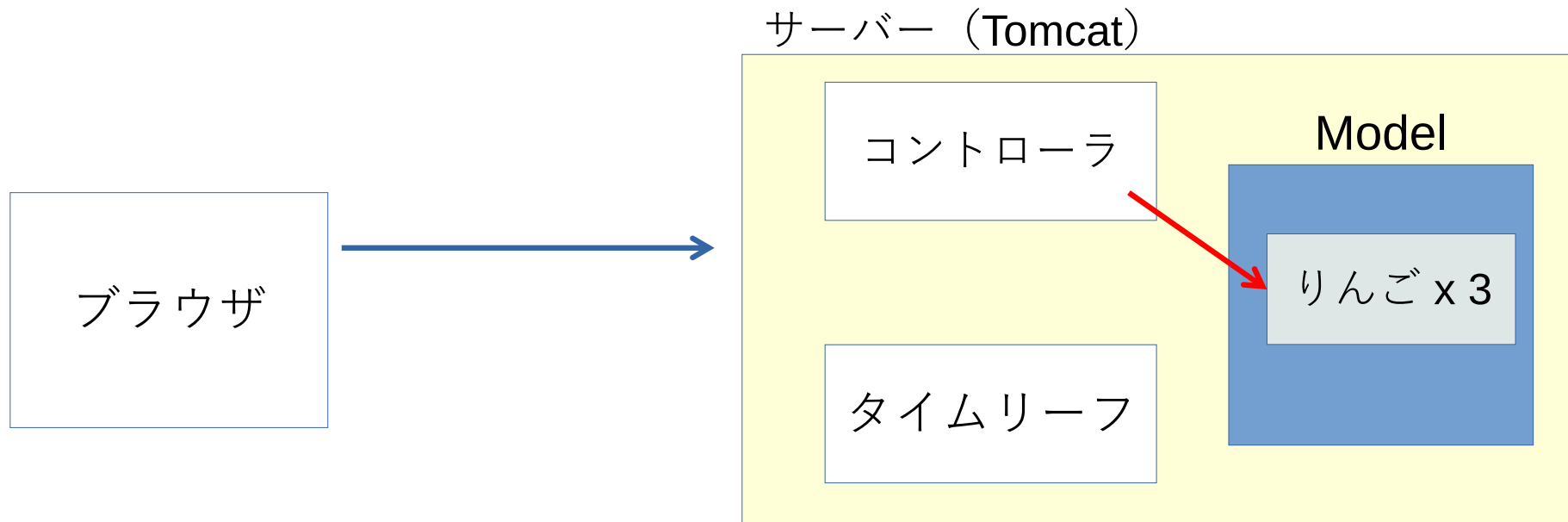


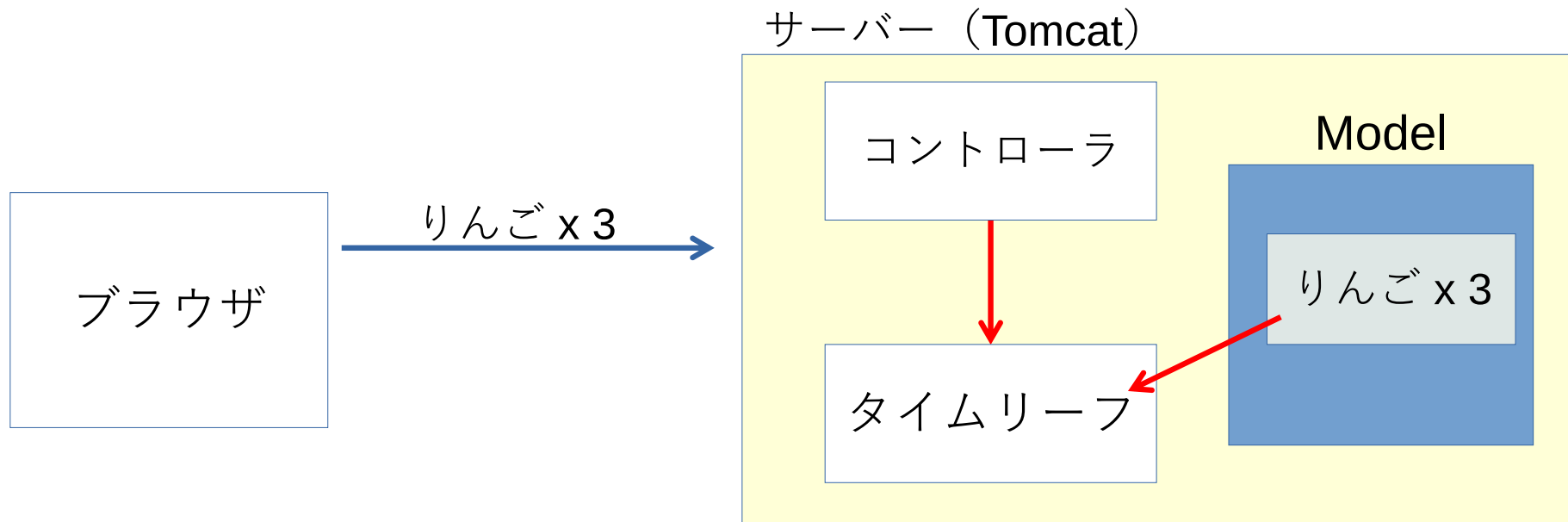
Model



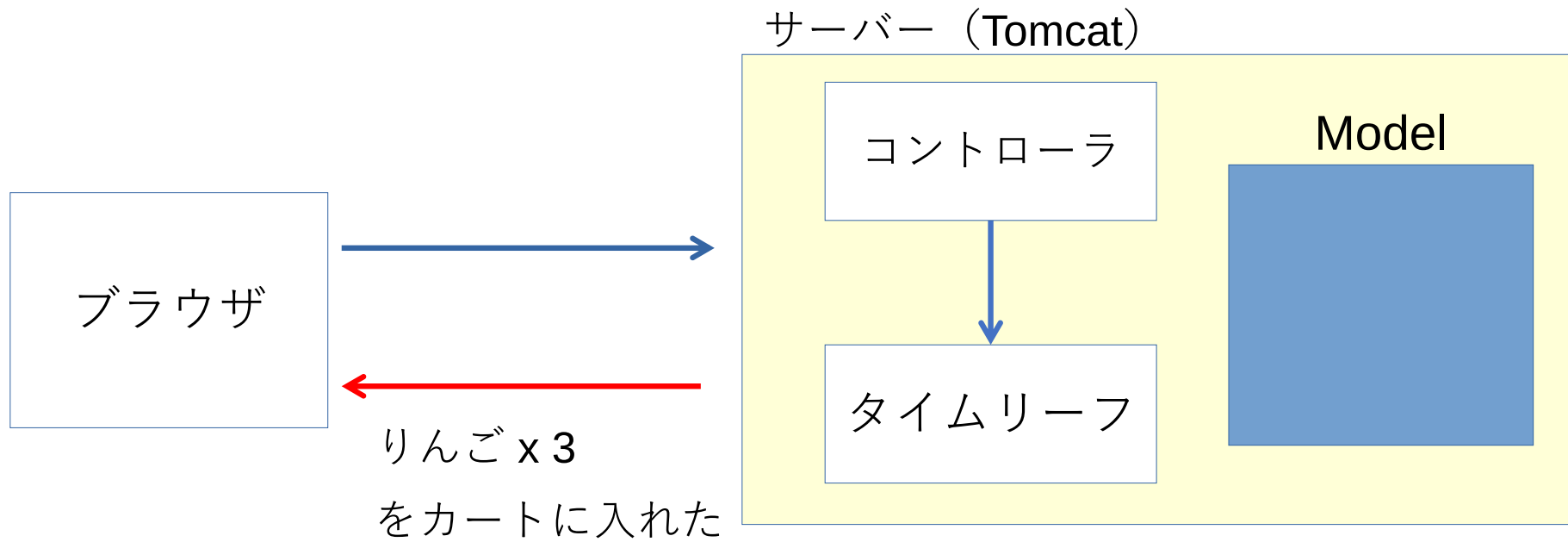
ブラウザからリクエストを通じて、りんごの購入個数が送信される



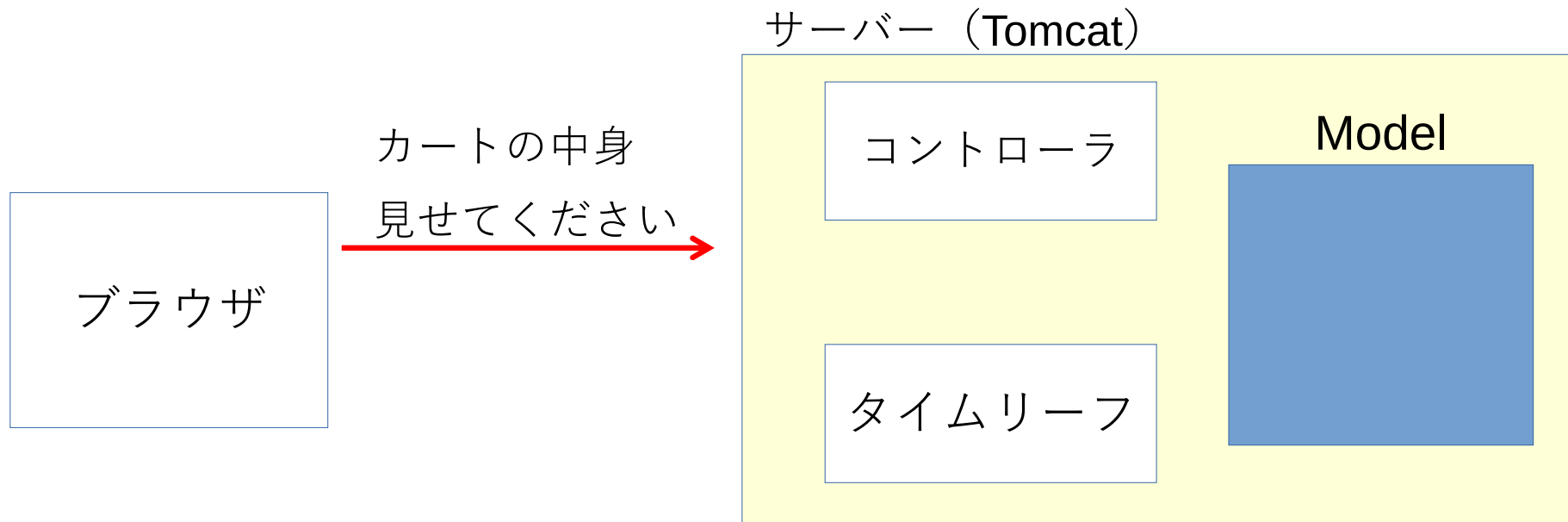
コントローラは、りんごの購入個数を**Model**に格納する



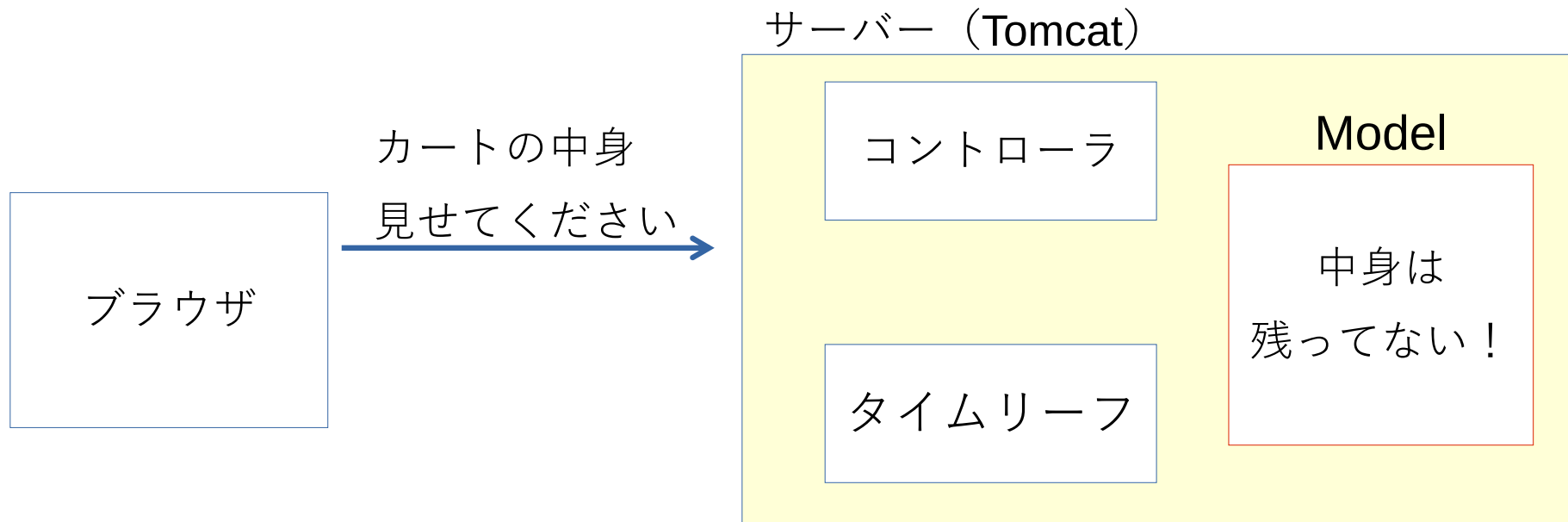
コントローラから、タイムリーフへフォワードが行われる
タイムリーフはModelの情報を参照する



タイムリーフは画面データを生成し、ブラウザに返す
この時点でModelのデータは消える

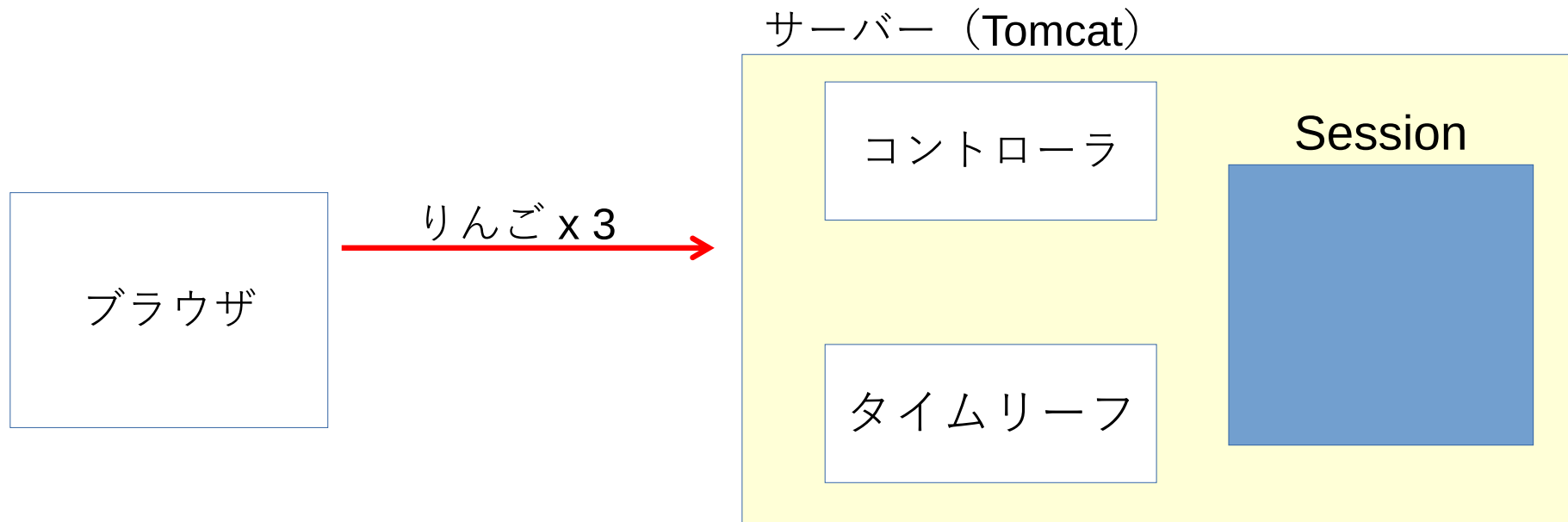


ブラウザからカートの中身(りんごの購入回数)のリクエストが来る

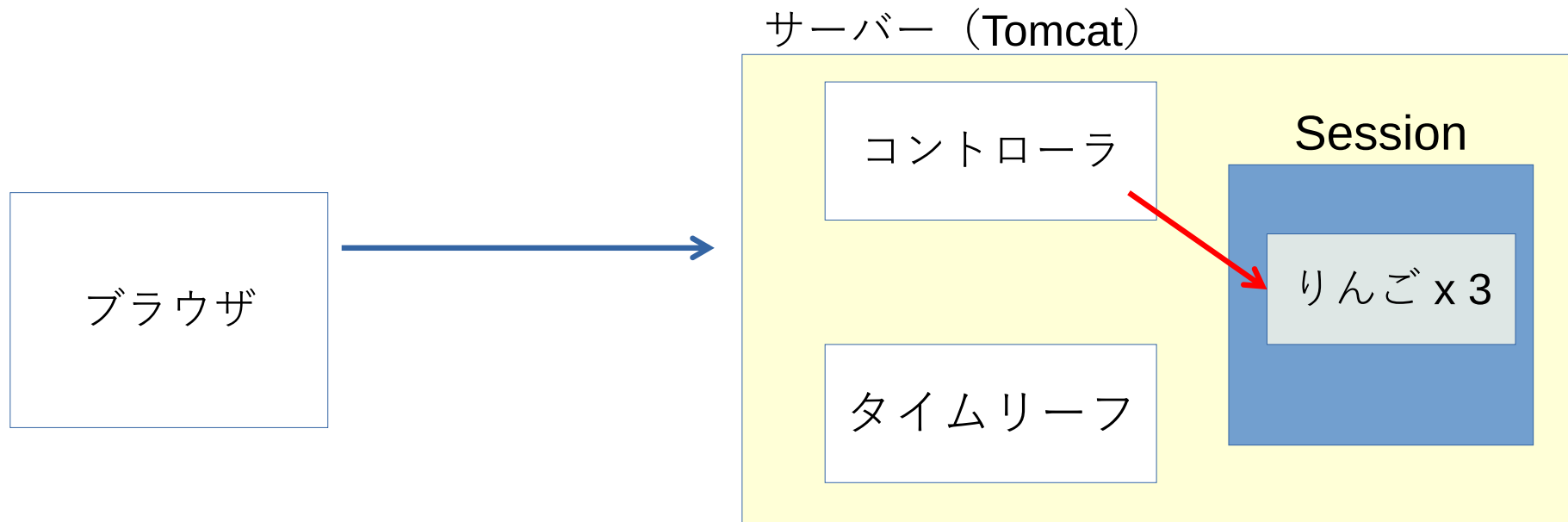


Modelに情報が残っていないので、教えることができない

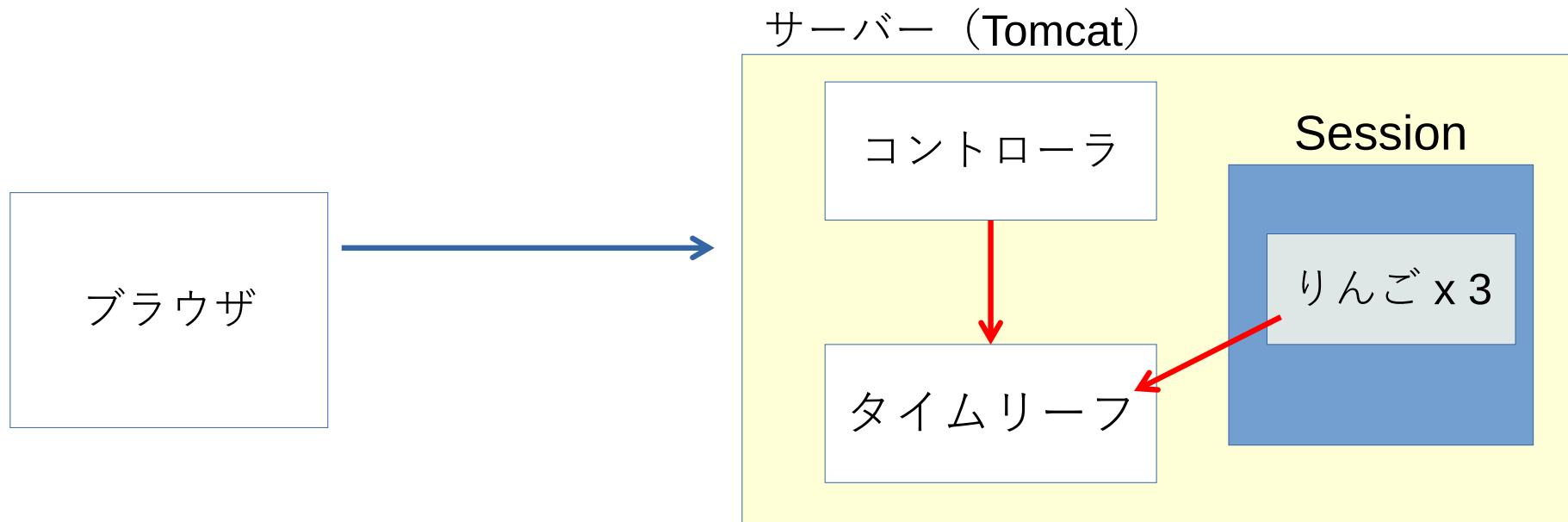
Session



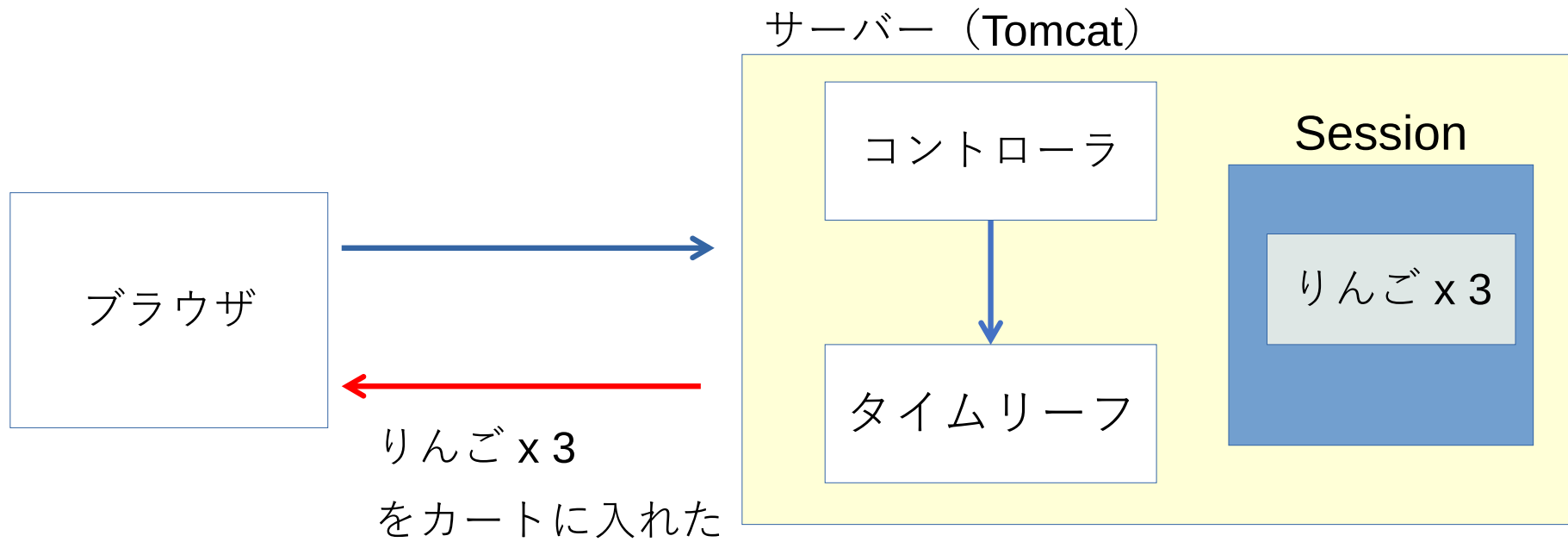
ブラウザからリクエストを通じて、りんごの購入個数が送信される



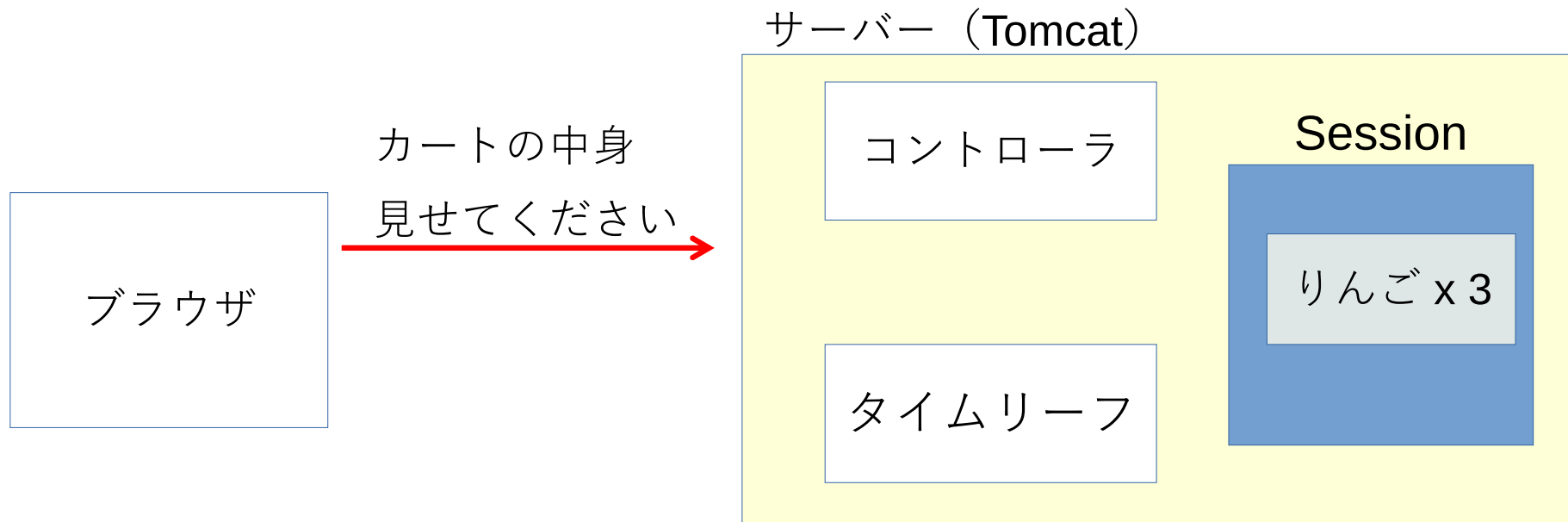
コントローラは、りんごの購入個数を**Session**に保存する



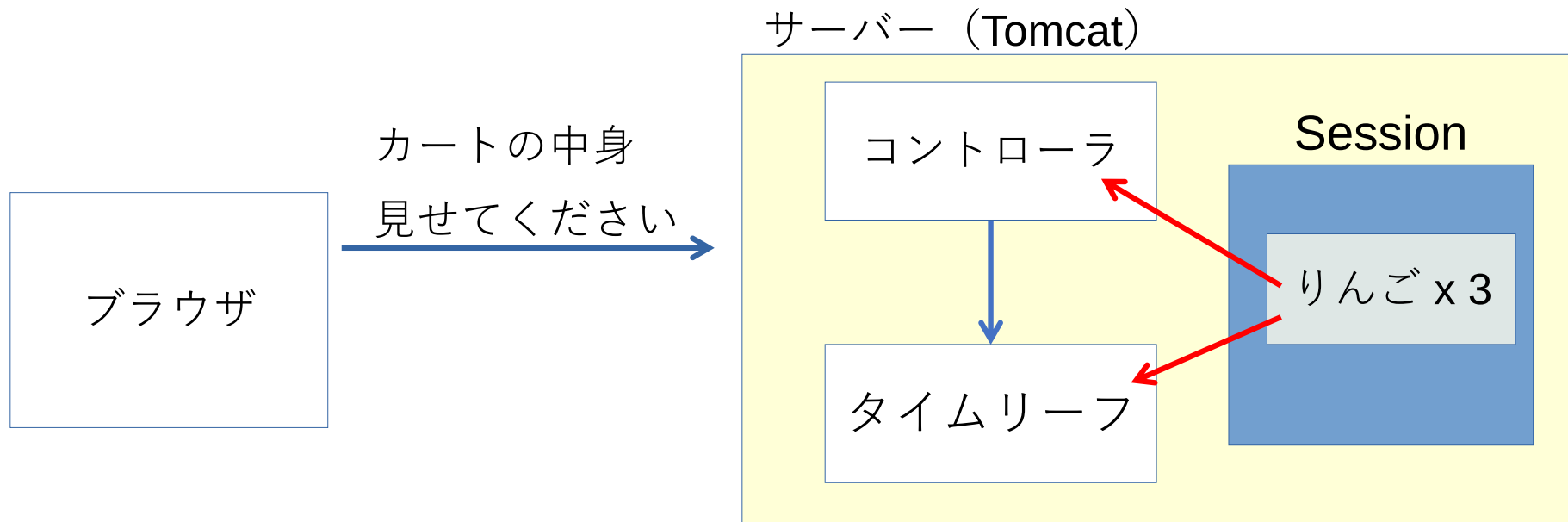
コントローラから、タイムリーフへフォワードが行われる
タイムリーフはSessionの情報を参照する



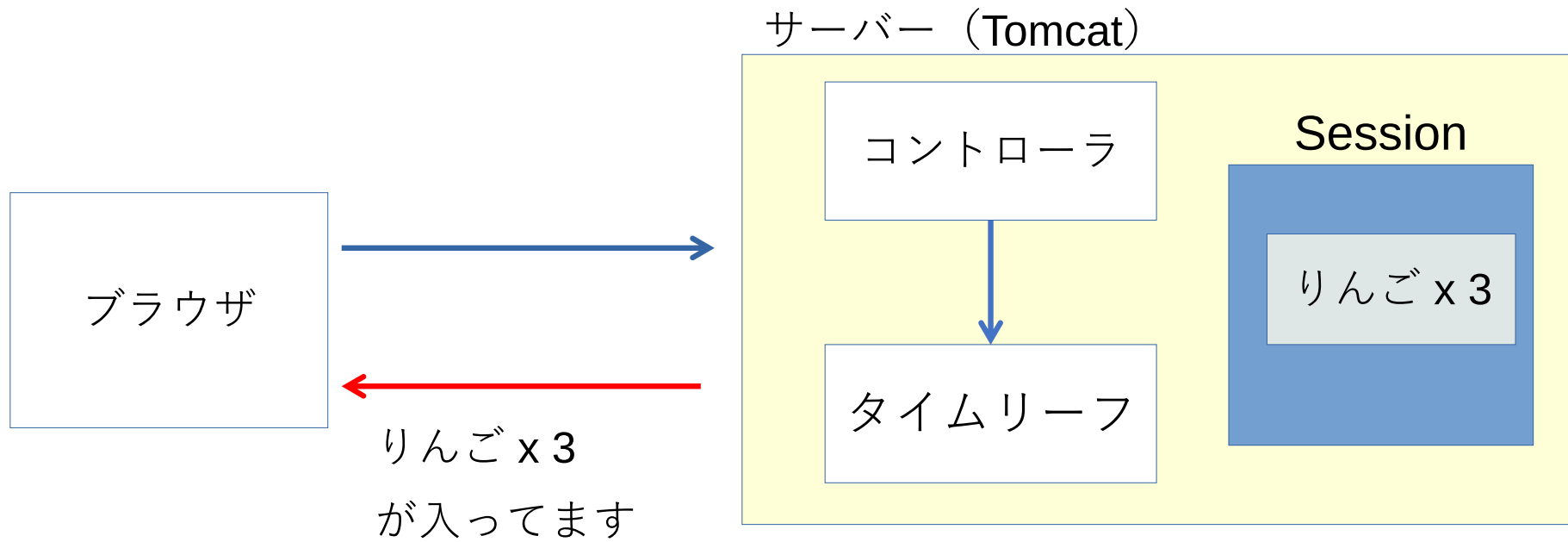
タイムリーフは画面データを生成し、ブラウザに返す
Sessionのデータは残っている



ブラウザからカートの中身(りんごの購入回数)のリクエストが来る

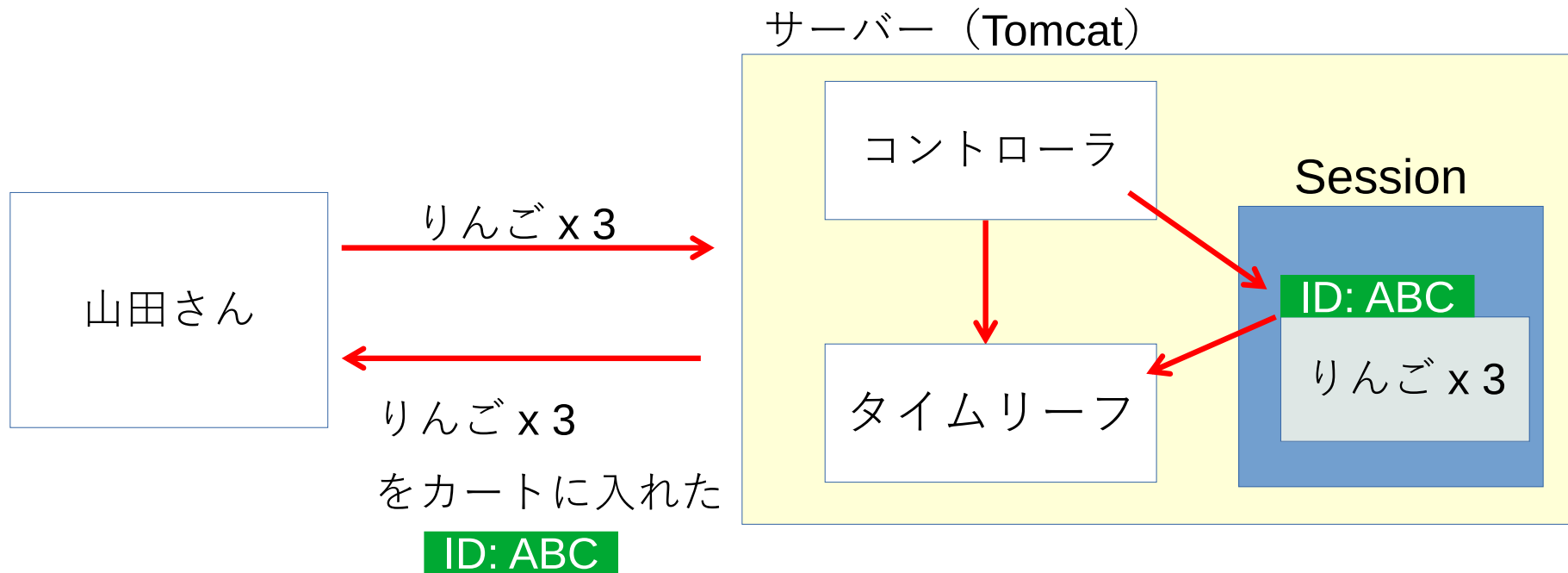


Sessionに残っているデータは、
コントローラからも、タイムリーフからもアクセス可能

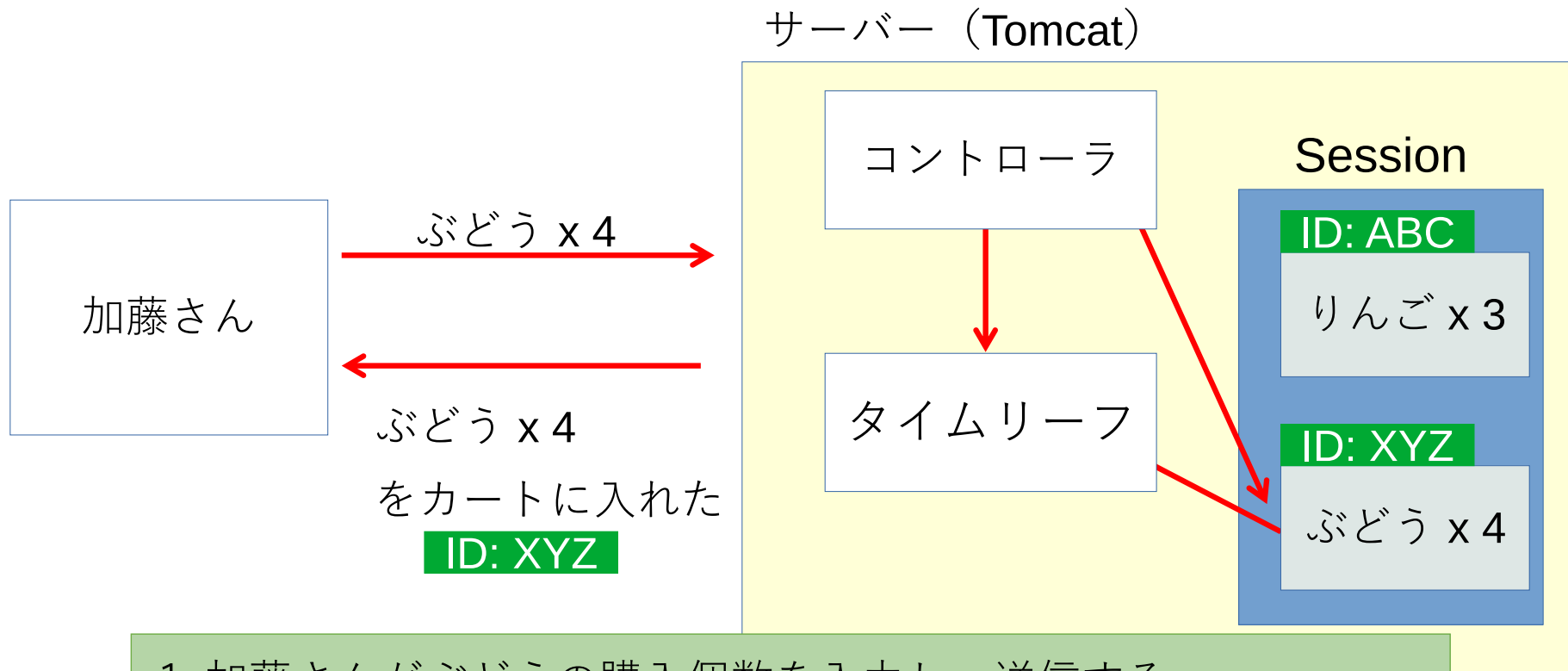


ブラウザにカートの中身を教えることができる

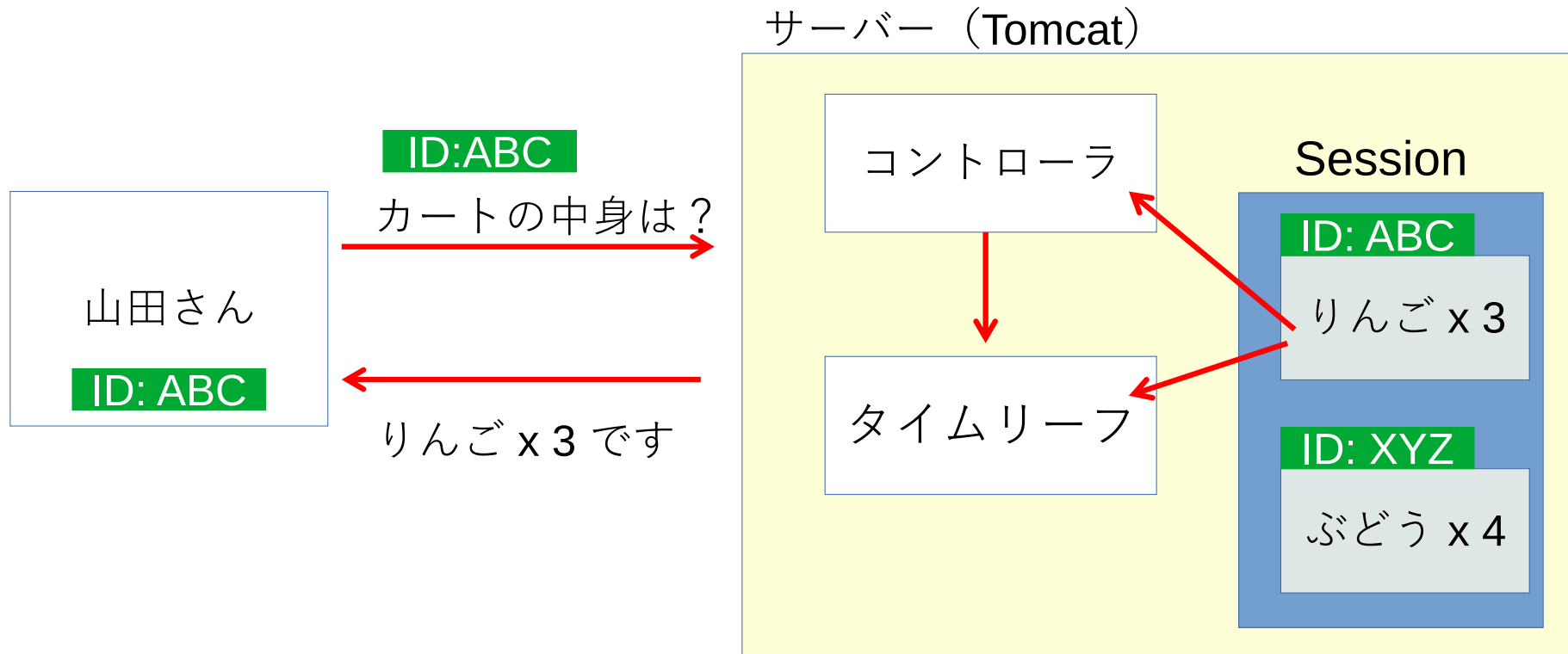
セッションID



1. 山田さんがりんごの購入個数を入力し、送信する
2. コントローラが**Session**に情報を格納する
⇒この時、山田さんの情報には**Session-ID**が紐づく
3. 山田さんに**Session-ID**が送られる
⇒この**ID**は、山田さんのブラウザにクッキーとして保存される

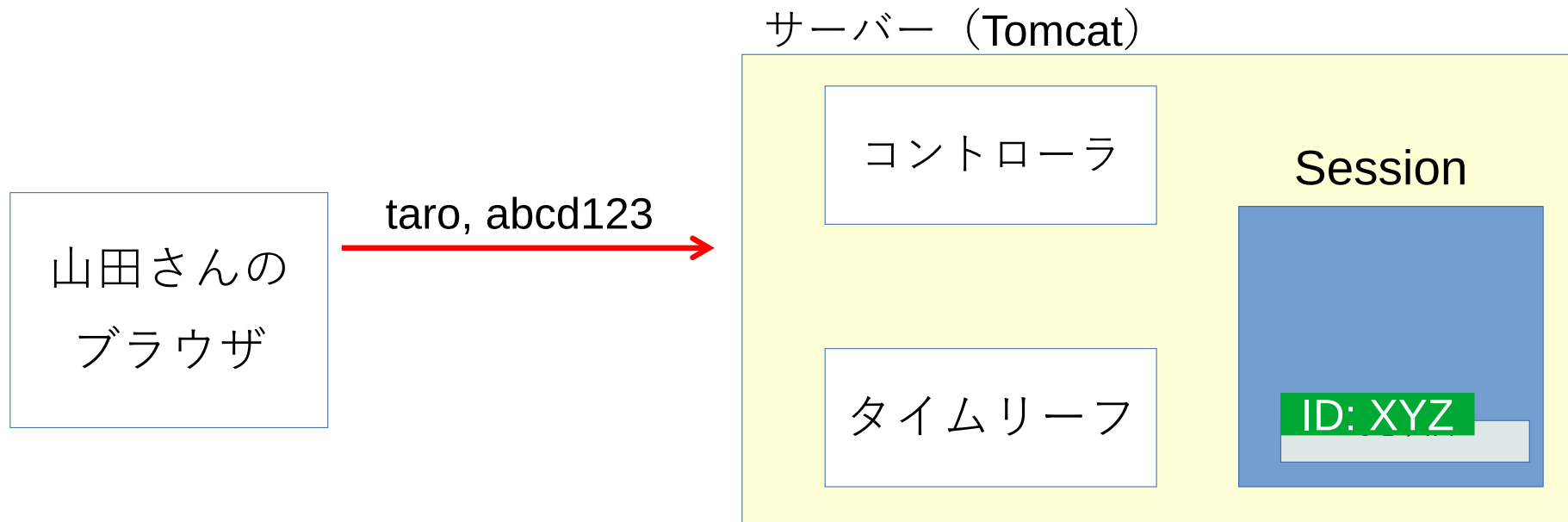


1. 加藤さんがぶどうの購入個数を入力し、送信する
2. コントローラがSessionに情報を格納する
⇒この時、山田さんの情報とは別の場所に情報は保存される
⇒この情報には、山田さんとは別のSession-IDが紐づく
3. 加藤さんにSession-IDが送られる

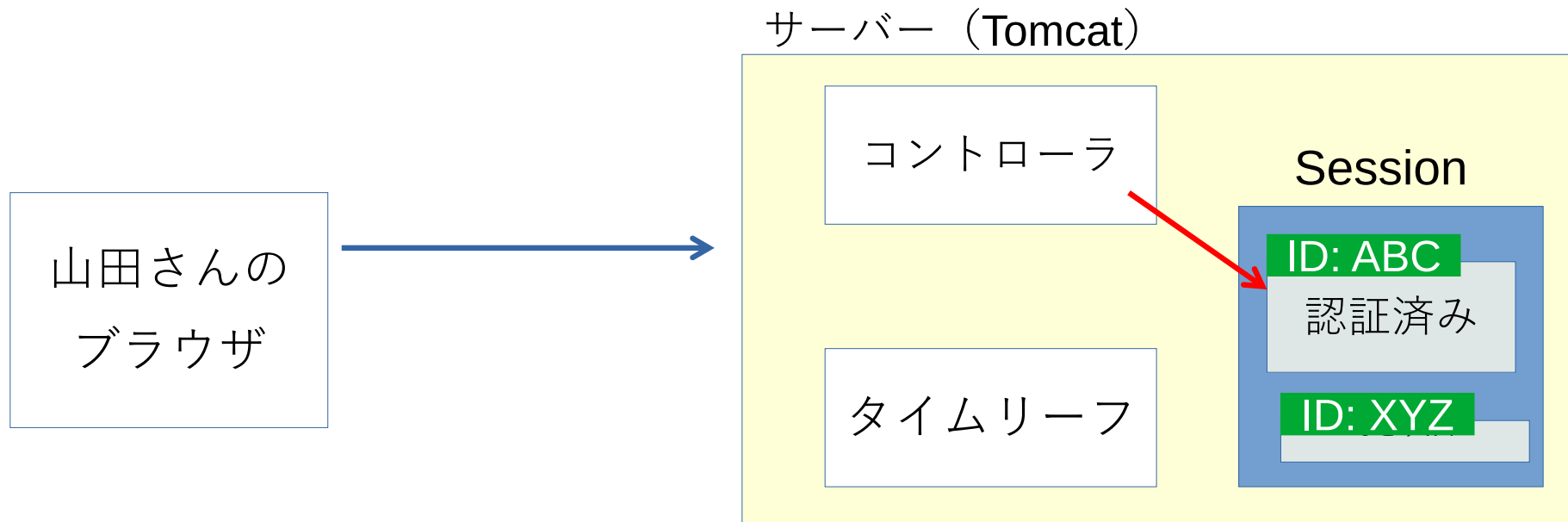


1. 山田さんがカートの中身を問い合わせる
⇒同時に**Session-ID**が送信される
2. コントローラやタイムリーフは**Session-ID**を使うことで、
加藤さんではなく、山田さんに情報にアクセスすることができる

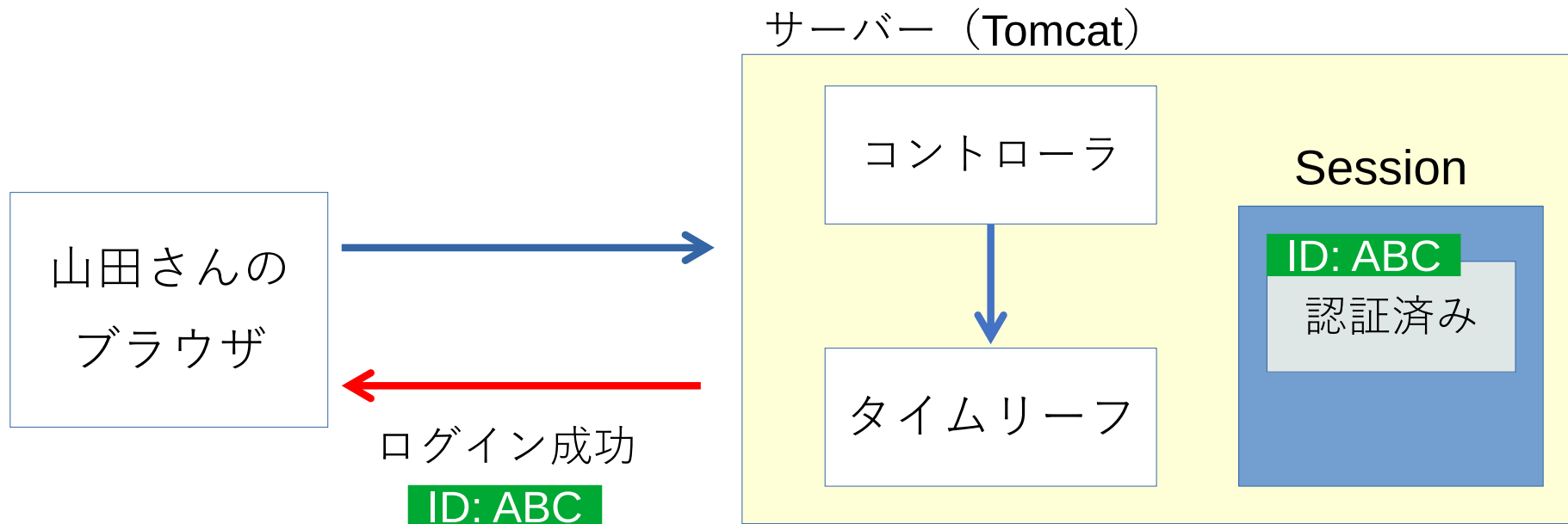
ログイン認証



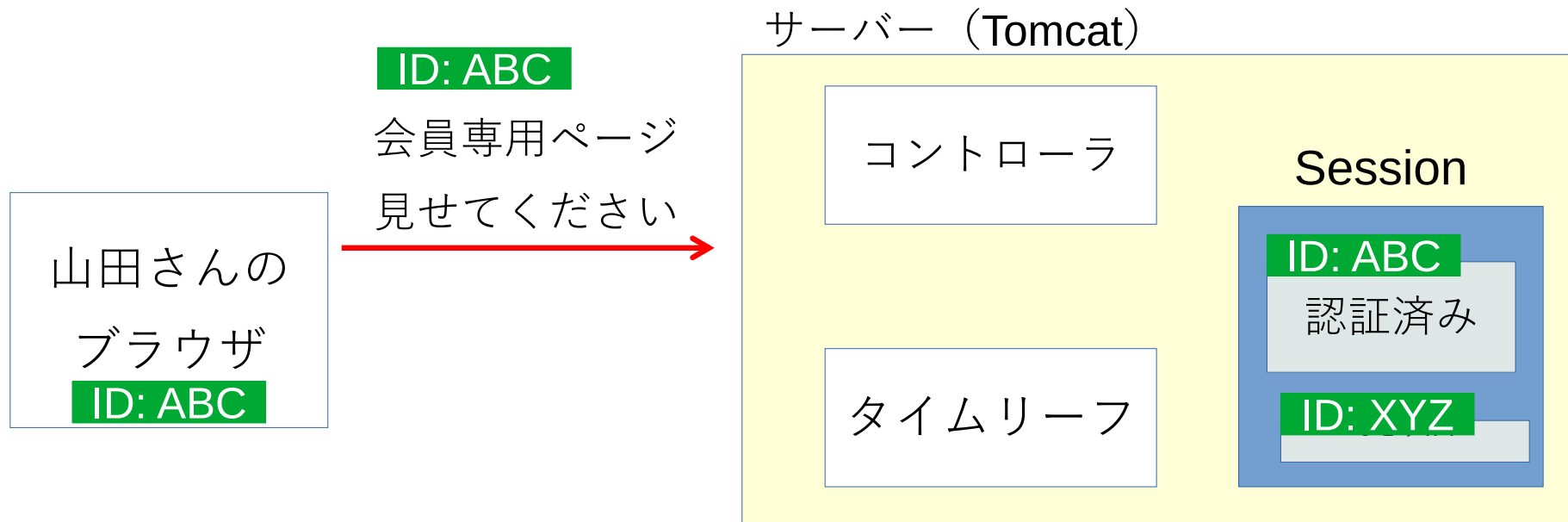
山田さんがログインフォームを使い、ログインIDとパスワードを送信する



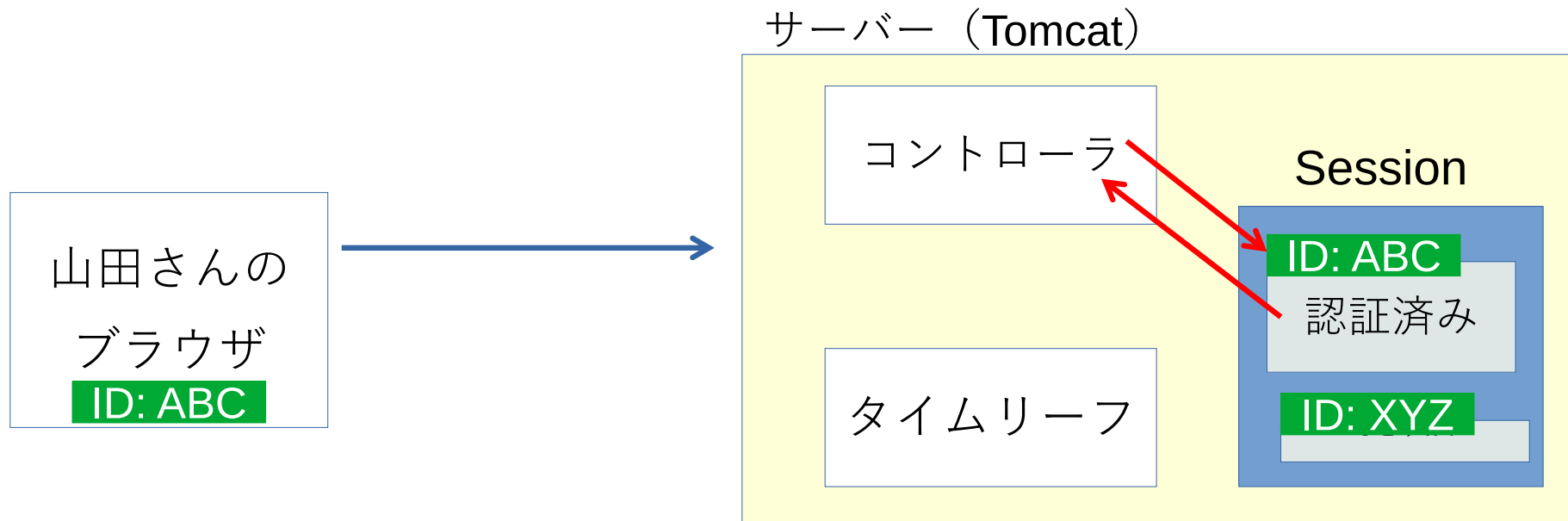
コントローラは、ログインIDとパスワードを確認し、
問題がなければ「認証済み」という情報をSessionに保存する



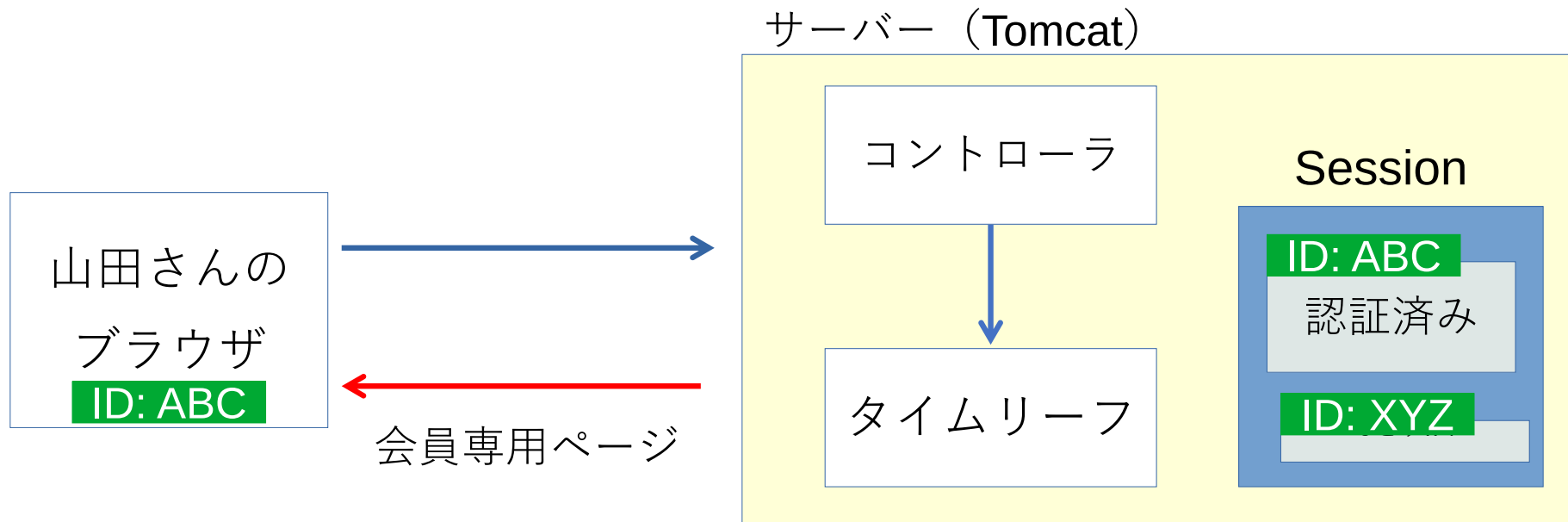
ログインに成功した旨を伝える
同時にセッションIDを山田さんのブラウザに渡す



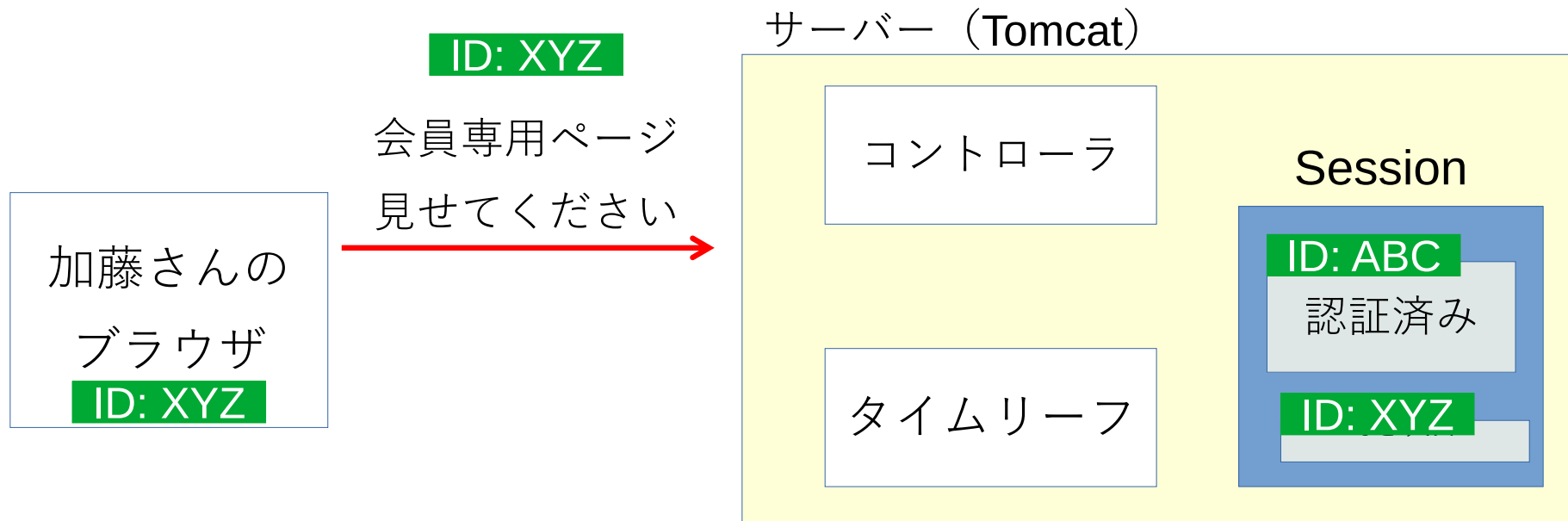
ログイン認証が必要なページへのリクエストが送られる
⇒同時にSession-IDが送信される



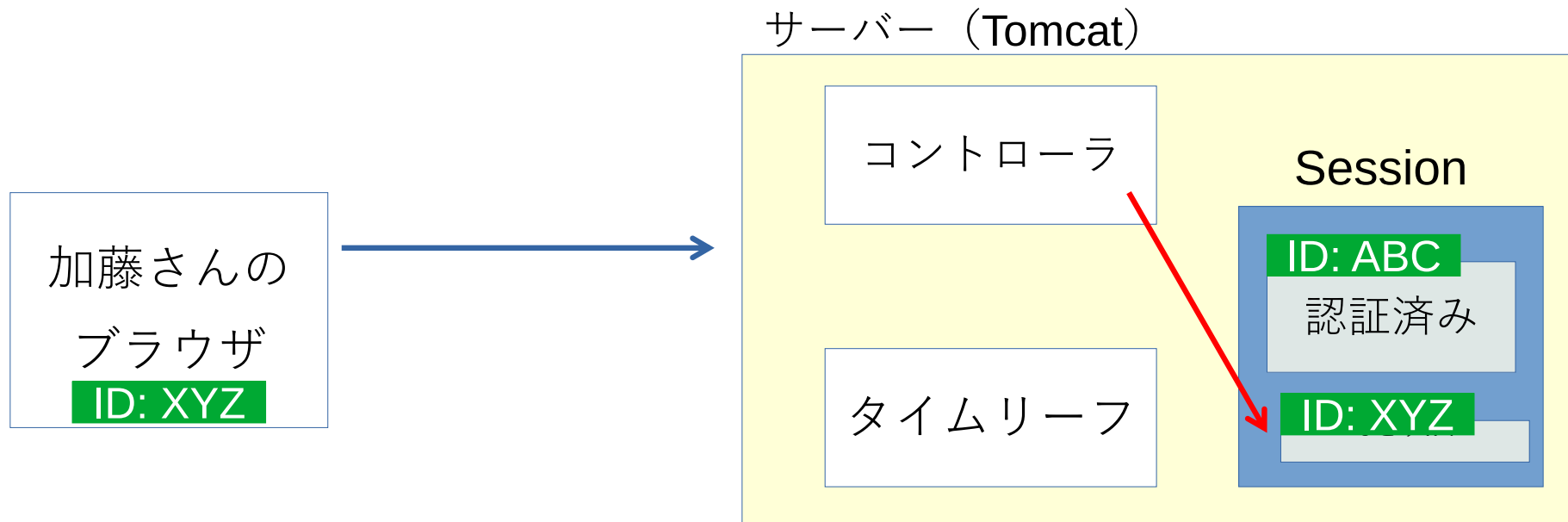
コントローラはSession-IDを使い、山田さんの情報にアクセスする
⇒「認証済み」という情報が返ってくる



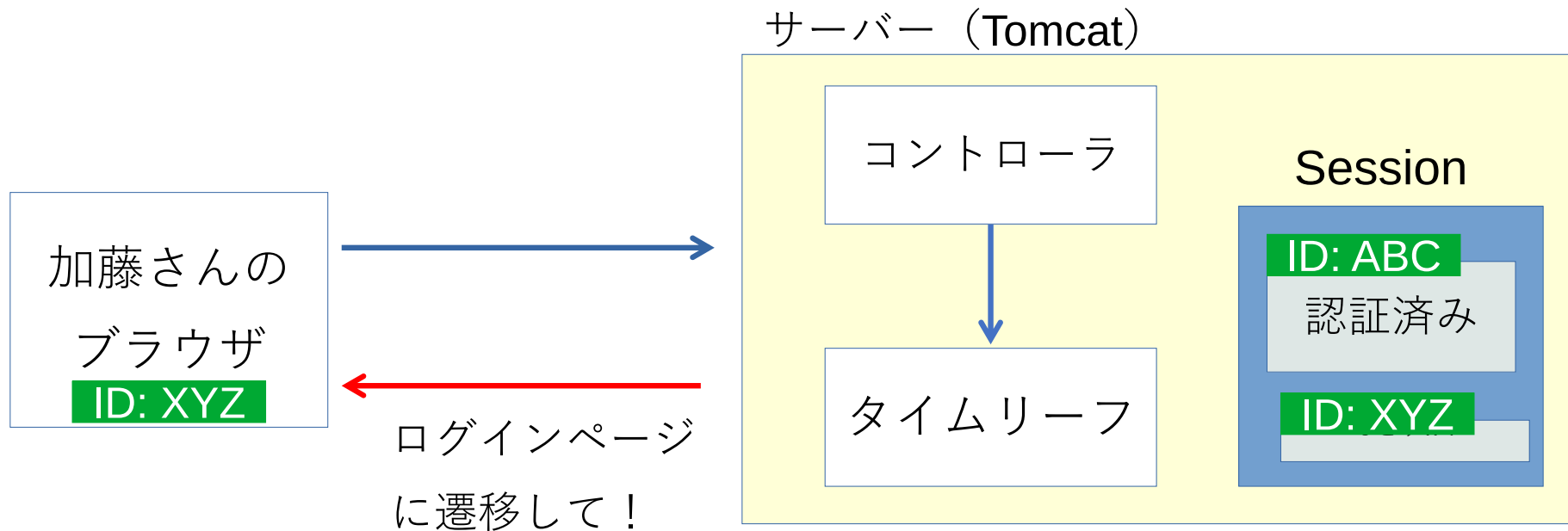
「認証済み」なので、会員情報ページのデータを山田さんに送る



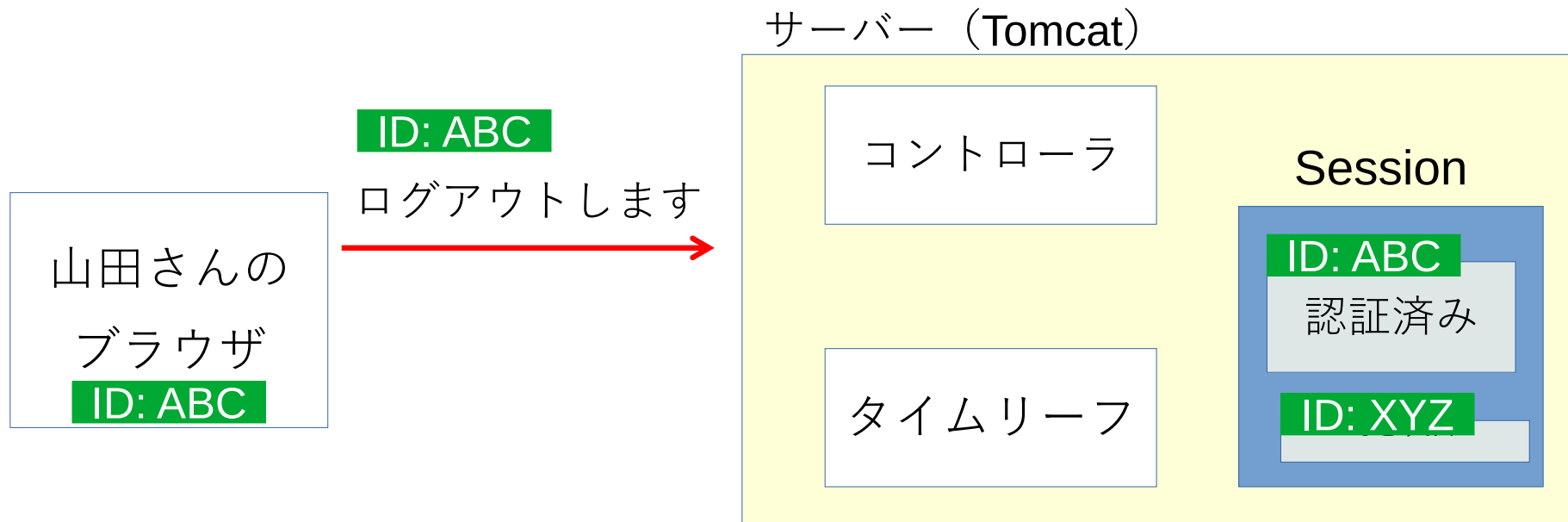
加藤さんから、ログイン認証が必要なページへのリクエストが送られる
⇒ 加藤さんから、**Session-ID**が送信される



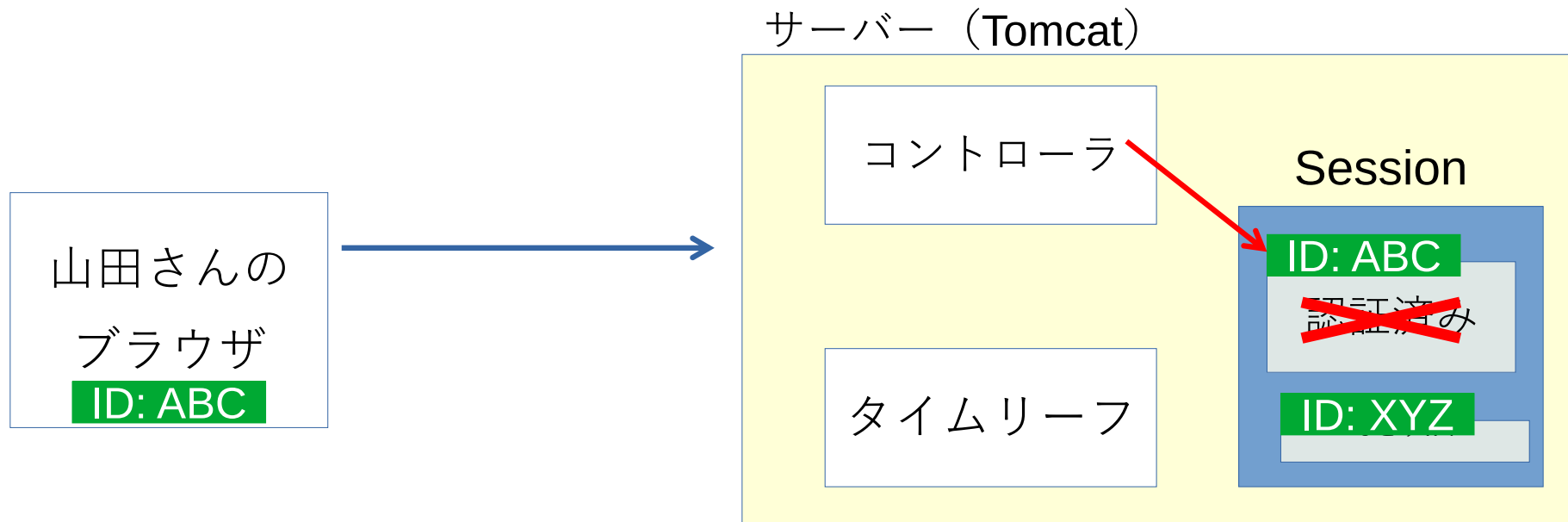
コントローラは、Sessionに「認証済み」の証明が無いことを確認する



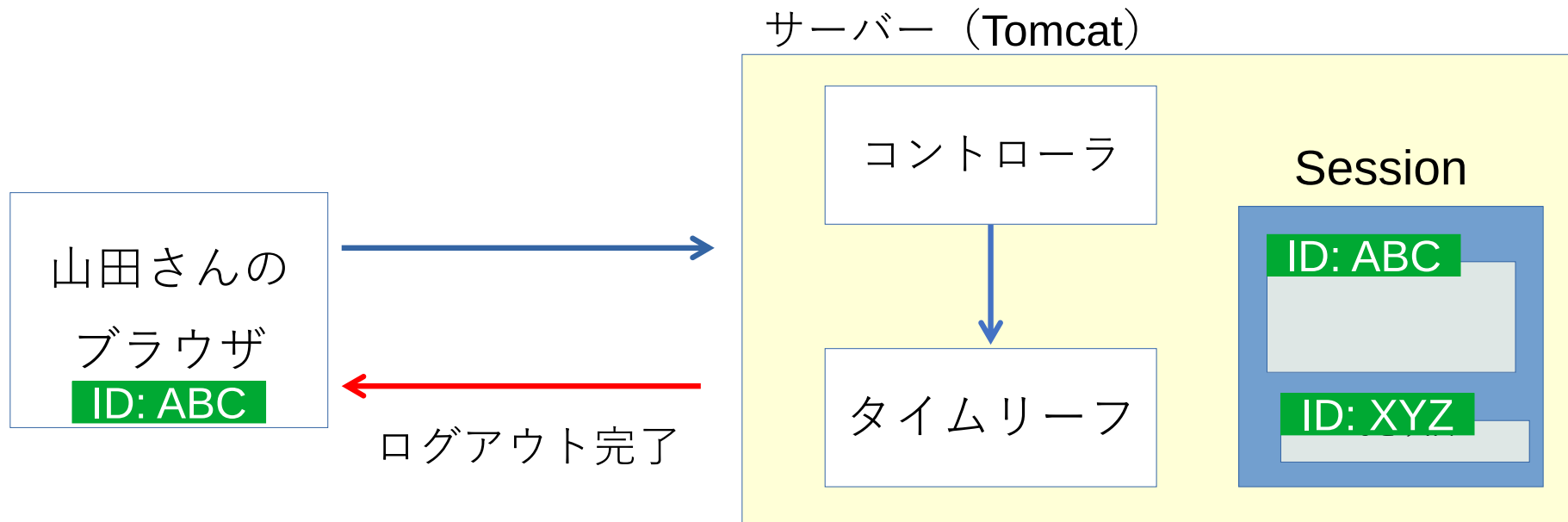
会員専用ページのデータは送信しない
代わりに、ログインページへ強制的に遷移させる(リダイレクト)



山田さんがログアウトページを訪れる



コントローラはSession-IDを使い、山田さんの情報にアクセスし、
「認証済み」を削除する



ログアウトが完了した旨を通知する